



八雲小学校 学校だより じぶんから



八雲小 HP
QR コード

R7.9.22 発行 文責：杉谷

楽しい2学期のスタート！！

9月1日（月）。2学期が始まりました。

去年よりも長かった夏休みが終わり、楽しい2学期が始まりました。2学期は**八雲っ子フェスティバルやロードレース、6年生は修学旅行、5年生は宿泊研修に連合音楽会**と楽しい行事が目白押しです。八雲っ子もさぞかしワクワクしていることでしょう！・・・とは言ってもさすがに長い夏休みからの切り替えは大変だと思います。中にはうまく切り替えられずにテンションが上がらない子もいるかもしれません。

そんな心配をしながら迎えた始業式。暑さが厳しかったので急遽リモートで行いました。画面越しに子どもたちの顔を見ながら話すと・・・つい笑みがこぼれましたが、集中して話を聴く姿に感心しました。

校長からは、夏休みの振り返りと2学期に頑張ることを話しました。その中で私が夏休みに感動したことを伝えました。それは、**甲子園で活躍した県立岐阜商業の選手**です。彼は生まれつき左手に障がいを持ちながらも努力してチームの中心選手となり、甲子園のベスト4まで勝ち上がる活躍を見せました。彼の思いや周囲の思いを伝えました。八雲っ子も彼のように2学期も頑張ってくれることでしょう。



2学期に頑張ることでは、4つのキーワード（1自分から 2チーム八雲 3かっこいい八雲っ子 4ありがとう）は定着しているので特には話しませんでした。2学期は楽しいビッグイベントがたくさんあるので、**自分から考え行動し、チームでめあてを達成し、お互い成長しよう**と話しました。また、**楽しい2学期になるので、簡単には休まず学校に行く力をつけよう**と伝えました。最後に「頑張るぞ～」「おう！」のかけ声で終わりました。職員室から発信しましたが、校舎中に響くほどの大きな声が全教室から返ってきて嬉しくなりました。パチパチパチパチ。

2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

夏休み期間中も ありがとうございます

今年の夏もまたまた酷暑の日が続きました。例年のことなので驚きはありませんが、「去年より」「観測史上1位」等のワードを聴くたびにうんざりすると同時に将来の不安を感じます。9月に入りやや落ち着きましたが、



しばらくは残暑が続きますので、皆様お体には十分お気を付けください。

今年の夏休みも幸いなことに大きなけがや事故はなく、安堵しています。これもご家庭や地域で子どもたちを見守り、声をかけてくださったからだと思っています。また、公民館での子ども夏祭り（8月6日）をはじめ、地域で様々なイベントや子どもたちの活動の場を用意していただき、楽しい思い出ができた子どもたちも多くいたと伺っています。本当にありがとうございました。



2学期が始まって20日あまりが過ぎました。様々な行事が目白押しの2学期。子どもたちが「明日も行きたくなる学校」になるように全職員で心がけて、一日一日を大切に過ごしてもらいたいと願っています。

5年生 連合音楽会に向けて頑張っています！

10月10日（金）に開催される「松江市小中学校連合音楽会」に向けて、5年生の練習にも熱が入ってきました。各パートに分かれての放課後練習も



始まり、どのパートを見てもとても意欲的に取り組む姿が見られます。子どもたちで自主的に音を合わせたり教え合ったりしているので、みんなで創り上げる音楽になりつつあります。昨年の5年生が大変素晴らしい発表を



しましたが、その力を受け継ぎ、八雲小学校代表として参加する今年の5年生も、きっと素晴らしい発表に仕上げることでしょう。頑張れ5年生！！

明後日からの修学旅行！みんなで思い出を創りましょう！

6年生は明後日9月24日（水）～25日（木）、広島方面への修学旅行に出かけます。9月18日（木）6時間目には6年生の係会を行いました。各係で最終確認をして、修学旅行に対しての心構えができたのではないかと思います。

そして今日、9月22日（月）の6時間目には結団式を行いました。式の中で見せる6年生の堂々とした姿に成長を感じながら、校長から旅行中に大切にほしいことを話しました。



6年生の保護者の皆様には、旅行の準備とお子さんの健康管理をしていただきありがとうございます。明後日は早朝の出発となりますが、よろしくお願いいたします。これまで真剣に取り組んできた平和学習で学んだことを自分の目や耳や肌で実際に確かめ、世界平和を実現するために何が大切なのかを考えられる機会にしてほしいと願っています。



なお、24日（水）～25日（木）は6年生が不在となります。5年生を中心に登校や学校生活を頑張ってもらいたいと思います。また、修学旅行の様子やエピソードは旅行後にホームページにもアップしようと思いますので、そちらをご覧ください。

「ダメ出し」よりも「いいね出し」を！！

親は、我が子が生まれた時はそれだけで喜んだのに、大きくなるにつれて我が子への期待の大きさや、他の子どもたちと比べて、どうしても喜ぶハードルが上がり、「ダメ出し」が多くなるもの・・・。

これは、私の子育ての経験で、今となって反省していることです。あの時もう少し認めてやり、褒めてやり、「いいね出し」をすることで自信をつけてやればよかったと・・・。

子どもたちは親には言わないけれど、学校で多くの友達と過ごし、難しい勉強を必死で理解しようとする中で、時には悩み、時には自分なりに解決しようと考えているものです。そんな子どもたちが家に帰ってきたら、「おかえり！」と笑顔で迎えてやり、「今日も頑張ったね！」と声をかけてやったり、ハグしたりすることが大切だと思います。また、感謝を伝えたり、しっかり聴いてやったり、失敗を認めてやったり・・・我が子を「一人の人間としてリスペクトすることから始める」が大切ではないかと思います。

八雲小学校の保護者の皆様は、そんなこと当たり前のこととしてすでに実践しておられると思いますが、私の経験を紹介させていただきました。「ダメ出し」よりも「いいね出し」を！！

